

令和 5 年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

犬山市地域公共交通会議

平成 1 9 年 4 月 1 日設置

令和 4 年 6 月 2 4 日 フィーダー系統 確保維持計画 策定

令和 5 年 4 月 2 8 日 フィーダー系統 確保維持計画 変更
(内田線の運行回数等の修正)

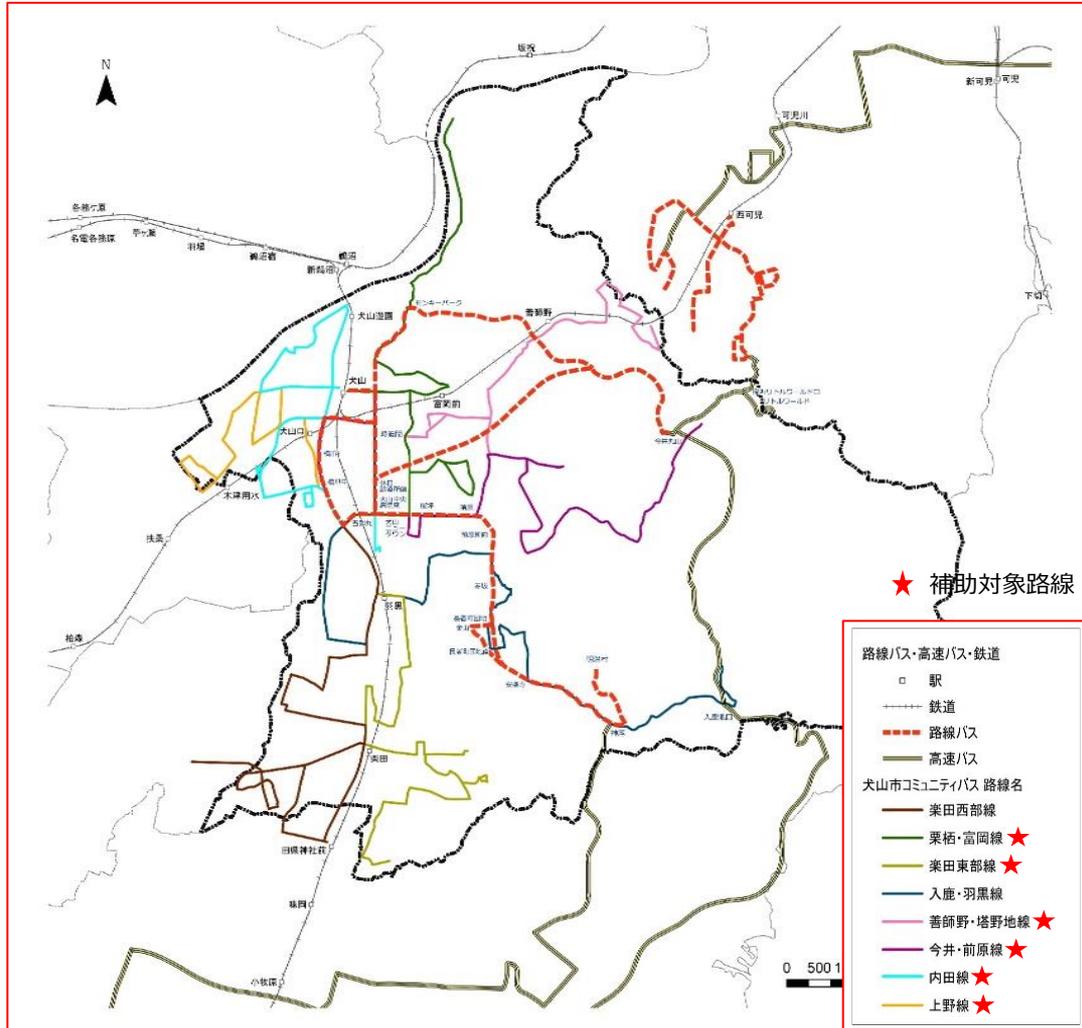
【本市の目指す姿・方向性】

第6次犬山市総合計画に基づき、効率的、効果的なコミュニティバスの運行により交通空白地の解消と安心して利用できる移動手段の確保を目指している。

また、都市計画マスタープランに基づき、**「移動しやすいネットワークの構築」**を目指すべく、バス交通の利便性を向上させ、多様な都市機能が充実した犬山駅、羽黒駅、楽田駅等の主要鉄道駅周辺と民間の路線バスやコミュニティバス等の公共交通を接続し、ネットワーク化を目指している。

【市内公共交通の役割分担】

- 鉄 道：市域を跨ぐ広域輸送
- 民間バス：主に観光路線を軸とした輸送
- タクシー：民間バス及びコミバスでカバーできない領域（地域・時間）の輸送
- コミバス：鉄道への接続を軸とした輸送



鉄道会社の取組み

名古屋鉄道株式会社



★各季にキャンペーンを実施

犬山市の観光関連のポスターを車内や鉄道各駅に掲示し、鉄道利用促進を図った。
また、R4年度からは通年キャンペーンとして展開し、年間を通じて犬山のPRを行っている。

R4.9.1～R5.2.28
通年キャンペーン（秋冬版）

R4.12.20～R5.2.28
冬の犬山キャンペーン

R5.3.1～R5.8.31
通年キャンペーン（春夏版）

R5.7.15～R5.8.31
夏の犬山キャンペーン



★ブランディング

犬山市内に2つのホテルを開業したことを機に、犬山の新シリーズ広告をスタート。
ポスターや特殊広告を車内や鉄道主要駅に掲示し、鉄道利用促進を図っている。

犬山市への来訪者が増加することにより、わん丸君バス（内田線等）の利用者数増加にも繋がっている。

路線バス会社の取組み

岐阜乗合自動車株式会社



★観光ハイシーズンにおける各施設での閉園時間の延長に対応するため、増便を実施。利用者の利便性向上を図った。

◆リトルワールド・モンキーパーク線◆

ゴールデンウィーク期間（R 5. 5）

3日間実施 増便：5本/日

夏季休暇期間（R 5. 7、9）

7月 平日6日間実施 増便：9本/日

休日4日間実施 増便：6本/日

9月 4日間実施 増便：6本/日

◆明治村線◆

ゴールデンウィーク期間（R 5. 5）

3日間実施 増便：1本/日

夏季休暇期間（R 5. 8）

平日6日間実施 増便：9本/日

休日4日間実施 増便：6本/日



犬山市へ来訪者が増加することにより、コミュニティバスの利用者数の増加にも繋がった。

タクシー会社の取組み 名鉄西部交通株式会社

★「ガイド付き犬山観光タクシー」の運行

観光タクシーは通年で実施しているが、期間限定で観光庁の既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業の採択を受け、名鉄西部交通株式会社が犬山市・犬山市観光協会・ナイスで犬山（歴史観光ボランティア）と共同で企画。ガイド付きの観光タクシーとすることで、観光客に対して、公共交通の利用促進を図った。

- 運行日 令和4年9月1日～令和5年2月12日
※12月29日～1月3日及び一部紅葉シーズンは除く
- 運行時間 9時00分～15時00分までの乗車
※一部コースは13時00分までの乗車
- 運行内容 全6コース



期間中は4件の利用があった。

（Aコース：2件 Bコース：2件）

コース	コース名	乗車時間	乗車料金	予約料金
A	お手軽犬山コース	約1時間30分	3,000円	1,000円
B	犬山寺社めぐりコース	約2時間30分	4,900円	1,000円
C	寺社安産子授け浅間コース	約2時間30分	6,200円	1,000円
D	寺社安産子授け大観コース	約2時間30分	5,700円	1,000円
E	横太郎神社とリトルワールドコース	約1時間	3,510円	1,000円
F	寺社安産子授け明治村コース	約1時間30分	5,270円	1,000円

犬山市へ来訪者が増加することにより、コミュニティバスの利用者数の増加にも繋がった。

公共交通事業の取組み

わん丸君バスの利用者数について、コロナ禍前の水準に戻りつつあるが、継続的な運行実施のため、様々な観点から利用促進を図る必要がある。

また、生活様式の変化や今後の人口減少を鑑みて、コミュニティバスだけでなく電車・バス・タクシー等公共交通全体を考慮して、今後の犬山市における交通について検討していく必要がある。



【取組み①】 地域公共交通計画(案)の策定に着手

公共交通全体に関する市の方針が定まっていない状態を解消するため、地域公共交通計画(案)の策定に着手。

策定にあたっては、地域公共交通会議にて協議を重ねて検討していく。

計画期間：R6～R10の5年間

公共交通全体について検討を進めることで、わん丸君バスの役割がより明確となる。その役割に対する施策を実施していくことで、更なる利用者増へつなげていく。



【取組み②】 デマンド交通実証実験の実施

デマンド型交通が犬山市にとって、地理的や人的な要因で、新たな交通手段となりうるのか検討するため、実証実験を実施。

期 間：R 5.1.11(水)～3.10(金)

運行時間：午前8時30分～午後3時00分

予約時間：午前8時00分～午後2時00分

運 賃：1人1乗車400円

事業主体：犬山市

運営主体：犬山市地域公共交通会議

運行主体：名鉄西部交通(株)



☆結果☆

事前登録者数：135人

利用人数：73人

今井地区
前原台団地
池野地区の一部



犬山駅東口
総合犬山中央病院
市民健康館

わん丸君バスも通常運行したこともあり、利用人数は想定より少なかったが、既存の公共交通以外の選択肢を検討するにあたり、利用者の声を聞いたことは有意義であった。

【取組み③】 企業等送迎バス実態調査

市内を走っている企業や病院の送迎バスなどを把握するために、名鉄犬山駅の西口・東口にて、交通調査を実施した。

実施日：R 4.10.11(火)

名鉄犬山駅の東口は企業や病院の送迎車が多く、西口はスクールバスが多い。
今後、公共交通との連携が可能であるか検討を進めていく。



路線バス関連の取組み

わん丸君バス



【取組み①】 令和5年12月再編に向けた各路線の検討

各地区からの要望を基に、路線変更やバス停の新設等を検討した。特に、他路線に比べて利用の少ない楽田地区の2路線については、始点から終点までの各バス停付近に、店や病院等が少ないため使いづらいとの声があるため、効率的な路線変更を検討し、公共交通会議にて協議を行った。

★再編のポイント★

- ①朝便2路線を新設
～栗栖・今井地区の中学生がバス通学できるように～
- ②地域の実情に応じた路線変更
～地元要望に応じた路線の変更～
- ③危険なバス停の解消
～曲がり角付近の全バス停を移設・廃止により解消～
- ④改善基準告示への対応（減便）
～ドライバーの労働環境改善のために～

各路線の乗車人数（R4.10～R5.9）

楽田東部線 5,125人

楽田西部線 9,882人

栗栖・富岡線 12,702人

善師野・塔野地線 15,889人

今井・前原線 22,778人

上野線 17,152人

内田線 11,950人

入鹿・羽黒線 20,707人

【取組み②】 パス券の種類追加

令和2年度より6ヶ月間有効のパス券を販売しているが、パス券の新規購入者が伸び悩んでいることから、令和5年12月の再編のタイミングで種類を追加するため、地域公共交通会議にて協議を行った。

令和5年度第1回犬山市地域公共交通会議での協議（R5.6.23） → 承認

現行のパス券

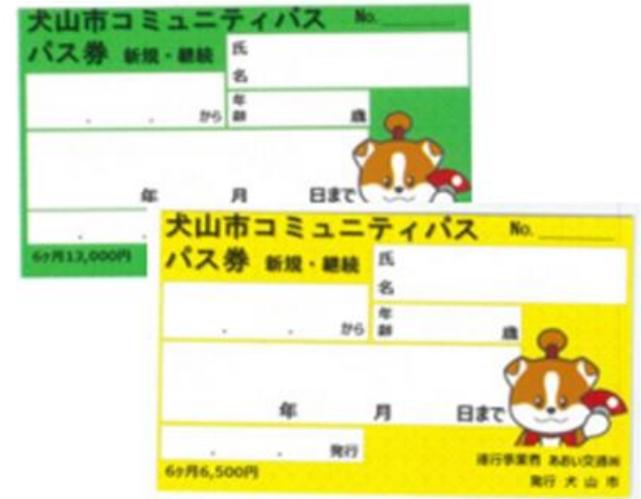
6ヶ月間有効のパス券

85歳以上・小学生：7,000円 大人：13,000円

追加するパス券

3ヶ月間有効のパス券

85歳以上・小学生：3,500円 大人：6,500円



以前より、6ヶ月より短い期間のパス券販売の要望があった。

令和5年12月より、中学生の通学利用のための路線を新設するため、各学期に合わせる形で3ヶ月間有効のパス券を作成する。

販売開始日：R5.12.1～

購入者数：R3年度 34人 ※R3.4月～R4.3月

R4年度 47人 ※R4.4月～R5.3月

【取組み③】 わん丸君バスの産業振興祭等の出展

産業振興祭等のイベントにてわん丸君バスを展示し、自由に乘ってもらうことで、わん丸君バスの認知度向上を図ると共に、公共交通への親しみを持ってもらう。

◆ 産業振興祭

R4.10.8(土)・9(日)

犬山市市民文化会館



※両日で来場者は約1万人

自由に車内へ入ってもらい（運転席での写真撮影可）、乗り方やコミュニティバス事業全般についての説明を実施。また、バスクイズも実施し、バスに関する情報を周知することができた。

◆ おしごと探検隊

R5.9.18(月祝)

石作公園



※わん丸君バスに並ぶ来場者。ピーク時は20分待ちの状況だった。

わん丸君バス・タクシー・パトカー・パッカー車などの「はたらく車」が集合し、仕事の紹介や各車の展示を実施することで、認知度の向上を図ることができた。

【取組み④】 公共交通に関する絵画展の開催

公共交通について関心を持ってもらうために、夏休み期間の「児童生徒作品募集」にて絵画の募集をしたところ、多くの作品が集まりましたため、絵画展を開催しました。

期 間 : R5.3.20(月)~30(木)

場 所 : 犬山市役所 1階 市民プラザ

展示枚数 : 74枚

期間中は年度末ということもあり、転入・転出等で来庁される方も多く、多くの方に見てもらうことができた。また、提出された作品については、現在策定中の「犬山市地域公共交通計画」の挿し絵として利用することを予定している。

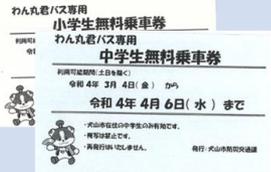


【その他取組み】

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
タクシー車両による満車対応 	わん丸君バスが満員に達した際、タクシー車両を活用することにより、目的のバス停まで運行することで利便性の増進を図る。	R 4. 1 0～R 5. 9 満車件数：15件 タクシー乗車：59人	紅葉シーズンの栗栖・富岡線において満車となる頻度が多い。栗栖・富岡線については、路線の関係で13人乗りの車両で運行しているため、観光利用と重なると満車が生じやすい。観光部署との連携を図っていく必要がある。
紅葉期間中の増車対応 	紅葉期間中に度々満車となる栗栖・富岡線について、追走対応することで、利用者の利便性を図る。	R4.11.21～R4.11.25の5日間 利用者数：78人	実施期間中はすべての利用者が乗車することができた。しかし、自由に増車できるわけではないため、天候や紅葉のピークの他にメディアの状況にも注視して実施日を決める必要がある。
新型コロナウイルスワクチン接種無料乗車 	新型コロナウイルスワクチン接種の促進及びわん丸君バスの利用促進を図るため、ワクチン接種が目的の乗車について無料とする。	R 3. 5. 1 7～ 利用者数 R 3：298人 R 4：152人	ワクチン接種会場までの移動手段として機能させることができた。今後も、ワクチン接種終了まで継続して実施していく。

2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

【その他取組み】

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
<p>小中学生無料乗車</p> 	<p>モビリティマネジメントの一環として、市内在住の小中学生に無料乗車の機会を設け、わん丸君バスの親しみを深めてもらい、公共交通の利用促進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆令和4年冬休み 利用者数：118人 ◆令和5年春休み 利用者数：295人 ◆令和5年夏休み 利用者数：516人 	<p>コロナ禍においては、利用が減少していたが、徐々に回復してきている。子供だけの利用も多いため、バスの乗り方だけではなく施設への行き方等の周知も行っていくことで、利用促進を図っていく。</p>
<p>期日前選挙無料乗車</p> 	<p>投票率向上及びわん丸君バスの利用促進を図るために、期日前選挙期間に無料乗車を実施する。</p>	<p>～市長選挙～ R4.11.21～25(5日間) 利用者数：78人</p> <p>～愛知県知事選挙～ R5.1.20～2.3(土日除く11日間) 利用者数：87人</p> <p>～市議会議員選挙～ R5.4.17～4.21(5日間) 利用者数：89人</p>	<p>期日前選挙の投票所までの移動手段として機能させることができた。今後も継続して実施していく。</p>
<p>多子多胎世帯支援事業 (わん丸君バス無料乗車)</p> 	<p>犬山市で実施している事業におけるメニューの1つ。少子化対策として多子世帯の経済的支援や育児負担の軽減を図る。併せて、わん丸君バスの乗車機会を増やし、利用促進につなげる。</p>	<p>R4.4.1～</p> <p>利用者数 R4：70人</p>	<p>ある程度の利用があり、多子世帯の経済的支援やわん丸君バスの利用促進に寄与している。今後は、無料乗車券を配布する際に乗り方等の周知をし、更なる利用者の増加を図っていく。</p>

3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

【目標①】 市内全駅での1日当たりの鉄道利用者数29,000人の維持

結果：令和4年度実績26,492人（達成率：91%）であり、目標は未達成

【目標②】 コミュニティバス年間利用者数の総計104,280人以上（R4.10.1～R5.9.30）

補助対象路線名	目標（人）	結果（人）	達成の状況	昨年度実績（人）
栗栖・富岡線	11,660	12,702	○（達成率：109%）	12,144
上野線	14,080	17,152	○（達成率：122%）	14,712
今井・前原線	19,690	22,778	○（達成率：116%）	18,747
楽田東部線	5,170	5,125	×（達成率：99%）	5,207
善師野・塔野地線	17,710	15,889	×（達成率：90%）	15,702
内田線	8,690	11,950	○（達成率：138%）	9,109
計	77,000	85,596	○（達成率：112%）	75,621

補助対象外路線名	目標（人）	結果（人）	達成の状況	昨年度実績（人）
楽田西部線	8,250	9,882	○（達成率：120%）	7,528
入鹿・羽黒線	19,030	20,707	○（達成率：109%）	17,318
総計	104,280	116,185	○（達成率：112%）	100,467

結果：年間利用者数総計116,185人（達成率：112%）であり、目標は達成

【目標①】 市内全駅での1日当たりの鉄道利用者数29,000人の維持

結果：令和4年度実績26,492人（達成率：91%）であり、目標は未達成

【考察】

コロナ禍前と比較して、回復傾向ではあるが、定期利用・定期外利用共にコロナ禍以前の水準には戻っていない。テレワークやオンライン会議等の普及により、利用機会が減少しているため、他の公共交通との連携も含め、様々な観点から利用者数の増加を図る必要がある。

【目標②】 コミュニティバス年間利用者数の総計104,280人以上（R4.10.1～R5.9.30）

結果：年間利用者数総計116,185人（達成率：112%）であり、目標は達成

【考察】

コロナ禍において利用者が減少したが、減少率は約20%減でとどまり、コロナ禍においても移動が必要な人の交通手段として機能していた。その後、徐々に利用者数は回復傾向に転じ、本事業年度では過去最高の乗車人数となった。今後の継続運行の実施のためにも、高齢化や運転免許証自主返納の動きにより需要の増加が見込まれる高齢者への情報周知や、コロナ禍以降戻りつつある観光客への対応等、様々な観点から更なる利用促進を図っていく必要がある。

※直近事業年度の乗車人数（全8路線）

H30.10～R1.9	115,184人	※コロナ禍以前
R2.10～R3.9	94,201人	※最もコロナの影響を受けた事業年度
R3.10～R4.9	102,701人	※前回の事業年度
R4.10～R5.9	116,185人	※過去最多の乗車人数

わん丸君バスの利用者数について、コロナ禍前の水準に戻りつつあるが、継続的な運行実施のため、様々な観点から利用促進を図る必要がある。

また、生活様式の変化や今後の人口減少を鑑みて、コミュニティバスだけではなく電車・バス・タクシー等公共交通全体を考慮して、今後の犬山市における交通について検討していく必要がある。

★公共交通全体での方向性の検討

【課題①】

公共交通全体に関する市の基本方針が定まっていない。

【課題②】

地域内の移動手段としてわん丸君バスを運行しているが、「出かけたけれどバス停までが遠い」といったケースが生じている。

【対応】

地域公共交通計画の策定。

引き続き、関係者間で連携して協議を重ね、犬山市の課題を整理し、課題解決に向けての目標設定や実施内容等を検討していく。

【対応】

タクシー車両の活用やデマンド交通など、わん丸君バス以外の選択肢も含めて、市民の移動手段について総合的に検討する。

検討にあたっては、交通担当課だけではなく、他部署や交通事業者と連携を図って進めていく。

★わん丸君バスの利用促進

【課題③】

観光客や永住者など日本語が読めない外国人利用が増えてきている中で、外国語対応ができていない。

【対応】

各バス停留所のバス停名に対して、ローマ字表記を行う。

(外国人の声)

- ・ 経路検索はGoogleMap等ができる。
- ・ このバス停が自分が探しているバス停なのかわからず待っていて不安。

→ローマ字表記をすることで外国人利用者の利便性を図る。

【課題④】

運転免許自主返納等による新たな利用者に対するわん丸君バスの周知

【対応】

バス教室等を実施し、乗り方だけでなく、バスで行ける施設を紹介するなどして、積極的なPRを図る。

(現状)

- ・ 市民アンケートの結果では、「わん丸君バスは知っているが、路線・ダイヤはわからない」との回答が多い。認知度の向上に努め、利用促進につなげる。

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	令和4年7月に実施した市民アンケートをもとに、公共交通計画の策定及び効果的なバス路線の再編等を検討されることを期待します。	<p>①市民アンケート結果及び地元からの要望に伴い、バス路線の再編を実施する予定です。</p> <p>②「今は公共交通に頼らないが、いつか自家用車を持たなくなったときに不安」との声があるため、公共交通計画にて、わん丸君バスを生活交流路線と位置付けることで、今後も継続して運行することを明記する予定です。</p>	令和5年12月のわん丸君バス再編及び令和6年2月の公共交通計画策定にあたり、市民や関係者の声を十分に取り入れたうえで検討を進めていきます。
	アンケート結果より、公共交通機関の利用に係る情報(バスのダイヤやルート・行くことの出来る施設等)の認知度は非常に低い結果が出ていることから、市民に対する情報の積極的な周知を図るよう期待します。路線の再編、運行の実施、バス停の設置状況などについて、市民の安全・安心に向けて、確実にルールが守られるものとなるよう、確認をして下さい。	<p>①市ホームページ内の施設案内のページにおいて、わん丸君バスにおけるアクセス方法や最寄りバス停等を掲載しました。</p> <p>②令和5年12月の再編においては、時刻表・路線図を全戸配布する予定です。</p> <p>③市民の安全・安心のために、いわゆる「危険なバス停」とされているバス停について、移設・廃止により全て解消する予定です。</p>	平成30年のわん丸君バス再編の際に大規模なルート見直しを行いました。5年が経過し、利用者に定着しつつあります。今後はバス教室の実施等により、積極的に情報の周知を行うことで、利用促進を図っていきます。

※前回：令和5年3月10日

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前々回	<p>今後も路線ごとの利用特性や利用者の属性の分析に基づき、利便性の高いバス路線のあり方を検討していくことを期待します。</p>	<p>令和4年8月に、町内会対象のアンケート調査を実施し、地域ごとの特徴を踏まえたニーズの分析を実施しました。</p> <p>発 送 R4.7.15号の広報差し込みにて各町会長へ配布 対 象 各町内会(317件) 回 答 226件(71.2%)</p>	<p>令和5年12月にわん丸君バスの再編を予定しています。地元からの要望やアンケート調査の結果を整理し、利用者の利便性が高まるように再編案を検討していきます。</p>
	<p>地域公共交通計画の策定においては、昨年実施された学識者への意見聴取や市民アンケート等の結果を踏まえ、コミュニティバス以外の近距離高速バスを含む路線バスや鉄道駅との接続にも配慮しつつ、引き続き関係者間で協議を重ねていくことを期待します。</p>	<p>計画策定に向けて、毎回の地域公共交通会議にて議題として、協議を重ねています。また、下記の調査等を予定しています。</p> <p>①交通調査 名鉄犬山駅の東西ロータリーにて、公共交通以外の交通(学校・企業・病院等の送迎バス)の利用状況を調査し、公共交通との連携が可能か検討する。</p> <p>②デマンド交通実証実験 一部地域において、デマンド型乗合タクシーの実証実験を実施し、新たな交通手段となりうるか検討する。</p>	<p>令和6年3月の計画策定に向けて、犬山市における課題を整理し、その課題解決に向けての基本方針や目標を定め、目標達成のために行う事業を検討していきます。検討にあたっては、関係者間で協議を重ねていきます。</p> <p>また、計画策定により、コミュニティバスの利用促進も図れるように、鉄道駅との接続等、乗り方も含め、地域住民に対する周知を図っていきます。</p>

※前々回：令和4年3月10日

【P D C Aの推進体制】

6月 フィーダー系統 確保維持計画の協議（P） ※計画期間：10月～翌年9月

↓実施（D）

12月 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価の協議

↓評価（C）

2月 第三者評価委員会

↓反映（A）

6月 フィーダー系統 確保維持計画の協議（計画期間：10月～翌年9月）

↓

...

【直近1年の協議会の実施日程】

日程	議事内容	日程	議事内容
令和4年 8月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通計画(案)の策定について ・デマンド交通実証実験について ・わん丸君バス再編について 	令和5年 3月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度犬山市地域公共交通会議予算（案）について ・地域公共交通計画（案）の策定について ・わん丸君バス再編について
令和4年 10月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通計画(案)の策定について ・デマンド交通実証実験について ・わん丸君バス再編について 	令和5年 6月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・生活交通確保維持改善計画（案）について ・地域公共交通計画（案）の策定について ・わん丸君バス再編について ・わん丸君バスパス券の追加販売について
令和4年 12月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業における地域公共交通確保維持改善に関する自己評価（案）について ・地域公共交通計画（案）の策定について ・わん丸君バス再編について 	令和5年 8月日	<ul style="list-style-type: none"> ・紅葉ルートバスについて ・「あいち県民の日」に伴うわん丸君バスの無料乗車について ・地域公共交通計画（案）の策定について